

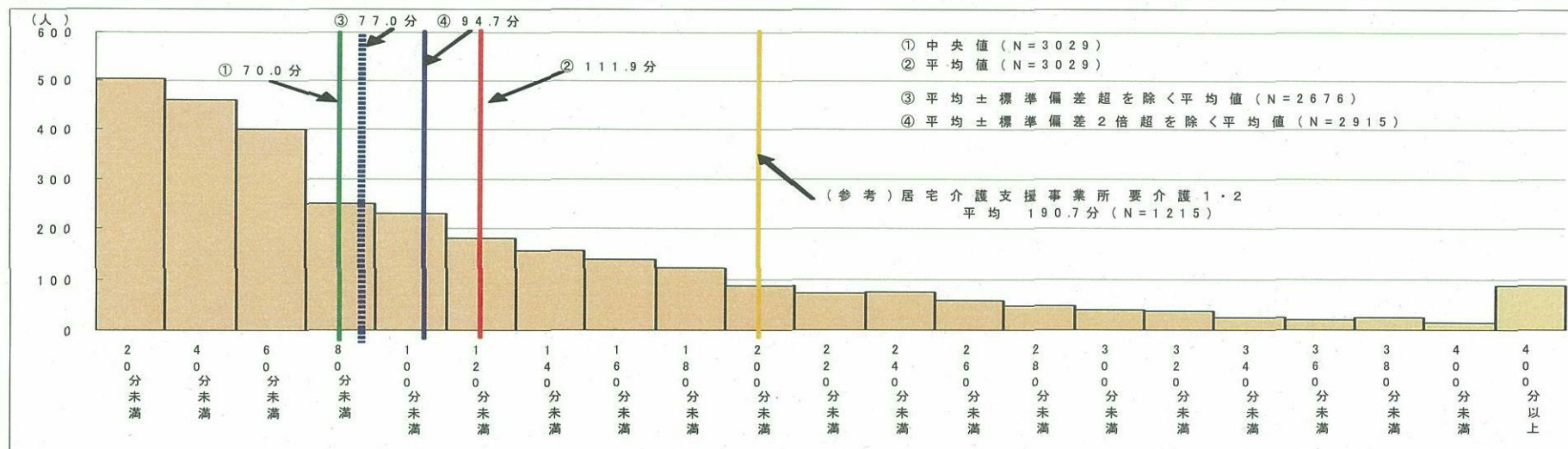
介護予防支援業務の業務実態について

【地域包括支援センターにおける利用者1人1月当たりの労働投入時間(分)】

- 利用者1人当たりの労働投入時間は分布にバラツキがあるが、80分未満が約53%である。
- 労働投入時間の中央値は70.0分(①)。一方、平均時間は111.9分(②)であるが、一定の外れ値を除くと、77.0分(③: 平均±1SD)、94.7分(④: 平均±2SD)である。

(参考)

- ① 当データは、平成19年11月から12月の1月間に渡って行われた地域包括支援センタータイムスタディ調査結果を取りまとめたもの。
- ② 「SD」とは、標準偏差(バラツキを表す指標)である。
- ③ なお、同時に行われた居宅介護支援事業所タイムスタディ調査結果では、居宅介護支援(要介護1・2)に要する労働投入時間は、平均190.7分となっている。
- ④ 介護予防支援と居宅介護支援の労働投入時間は、いずれも初回加算利用者を除く時間である。



※出典:「居宅介護支援事業所及び介護支援専門員業務の実態に関する調査」(平成19年株式会社三菱総合研究所)

【居宅介護支援事業所における利用者1人1月の労働投入時間(分)】

- 居宅介護支援の場合、2年間で業務時間が5.4%短縮されている。

(ケアマネジメント業務の合計)

147.6分(平成13年7月) → 139.7分(平成15年11月) ▲5.4%短縮

※出典:「居宅介護支援事業所及び介護支援専門員業務の実態に関する調査」(平成15年株式会社三菱総合研究所)、「居宅介護支援事業及び介護支援専門員業務の実態に関する調査」(平成13年長寿社会開発センター)